

小川ゆうじの「しんぶん赤旗」読者だより

大阪田尻町議 小川雄司



田尻町支部党活動募金 1口200円のお願

なんでも相談は
月・水・金の
午前10時〜正午
465-9939

8月の弁護士相談は
8日(金)
夕方6時〜8時
事前予約が必要です

(部内資料)

9月定例町議会が開催され、午前中の一般質問を9人が傍聴

議員の一般質問は、明貝・大門・小川・吉開・東坂口の各議員の順で行われました。吉開議員の質問の後半まで午前中に行われ、9人が傍聴されました。左記に吉開議員の一般質問の質疑応答の概要を報告します。



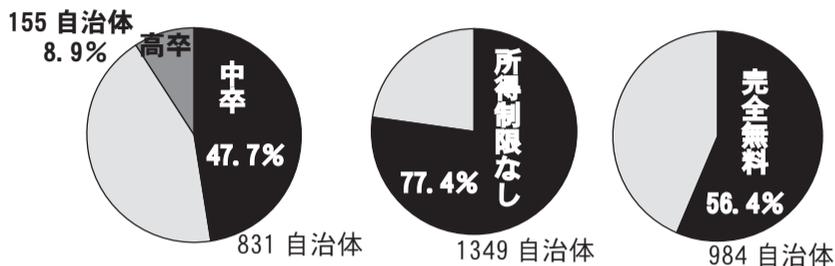
田尻町も自己負担なしの完全無料化を 吉開議員

吉開議員は、「全国的には、完全無料、所得制限なし、中学校卒業までが大勢です。ところが、田尻町をはじめ、この3要件をすべて満たしている自治体は、大阪府内には、1つもありません。日本の子どもの相対的貧困率は、15.7%、約6人に一人の子どもが貧困状態です。田尻町でも例外ではありません。こうしたなかで、1医療機関あたり、1回500円、月1000円までの一部負担金を撤廃し完全無料とする」ことを求めました。

全国の自治体の「こども医療費助成」の状況

(全国1742自治体 2013年4月時点 厚労省調べ)

通院の対象学年



全国的には、完全無料、所得制限なし、中卒までが大勢

「今のままで十分である」と原町長

原町長は、「現在、子ども医療に関しては府内でトップ。一定、制度としては負担していただくというところは大事だと思っている。今のままで十分であると考えている。」などと答弁しました。

昨年、共産党議員団が行った町民アンケートによせられたご意見

我が家は共働きで子供は保育所へ通っています。夫婦ともに職場が遠いため、広域の保育所への送迎が時間的に難しいです。毎年町立保育所に申請し、入所できるか否かひやひやしています。自分の自治体の保育所に入れるというのは当たり前の事と思います。早く施設を増やすなど、安心して入所させる環境をつくって欲しいです。

学童保育施設

施設拡充せず、つめこみ

来年度から「子ども子育て支援法」が田尻町でも本格実施されることにより、9月町議会に関連条例案が提案されています。田尻町は保護者へのアンケート結果にもとづいて法律どおり小6までを対象に来年度から実施することが、条例審議のなかで明らかになりました。学童保育は現在、役場本庁舎向の施設で小3まで

アンケートの結果、学童保育は来年度から小6まで実施するが、現施設で現在定数70を定数120まで引き上げて入所させる方針

を対象に70名の定員いっぱい程度で実施していますが、面積基準は国の基準を上回っています。それを国の低い基準にあわせ、定員を120名まで引き上げて、小6まで実施する方針です。共産党議員団は、消防センター横の町有空き地に移転拡張するように求めています。

子育て施設の拡充を拒否しながら、総事業費10数億円、年間運営費2000万円の施設建設「町民総合体育館」をつくらせ

4日突如、議会に報告した原町長

4日の本会議議事が終了してから、原町長は、町議会に突如、副町長、教育長を同席させ、山本総務部長が、「町民総合体育館」建設を中心とした「スマートウェルネス」構想をすすめるため、10月1日付けで庁内組織をたちあげると議会に報告しました。体育館の建設場所は、漁協前府所有地を予定、不動産鑑定をへて約3億円で買い取り、駐車スペース100台、鉄筋コンクリート造2階建です。総事業費は、10数億円、年間の水光熱費など管理運営費は約2000万円になることを、私の質問で認めました。主な施設は、アリーナ、トレーニングルーム、ランニングコースなどで全室空調完備です。来年度用地買収を実施する計画案になっています。

私は、「子育て施設拡充を拒否しながら、このような箱物づくりは認めることはできない。年間運営経費が2000万円もかかれば、経常経費を押し上げ、町財政を悪化させる。」と批判、「すすめるべきでない」とハッキリ言いました。